

研究実施のお知らせ

2024年2月9日 ver.1.1

研究課題名

変形性股関節症と尿失禁症状の関連

研究の対象となる方

2021年10月から2024年3月の間に島根大学医学部附属病院整形外科において変形性股関節症に対して人工股関節全置換術を受けられた方。

研究の目的・意義

尿失禁（尿漏れ）は高齢女性をはじめ一般的に珍しくない症状ですが、生活の質を低下させる深刻な問題です。近年、変形性股関節症で股関節の機能が低下している方に尿失禁の症状を訴える方が多いことがわかってきました。そして人工股関節全置換術によって機能が改善すると尿失禁の症状も軽減することもわかっています。手術によって痛みが良くなり、歩行や生活が楽にあるのに加え、尿失禁症状も回復すれば患者さん皆さんにとって大きな意義があります。

この研究では、変形性股関節症の患者さんの尿失禁にはどのような特徴があり、また人工股関節手術によってどのように改善するのを明らかにします。

研究の方法

この研究では島根大学医学部附属病院の電子カルテ内に記録されている、患者さん自身の年齢や身長・体重といった個人データと、股関節の機能を評価した評価票、尿失禁についての質問票、CT画像といった医療データを用います。診療で用いた検査結果のみを使用しますので、研究のために新たに検査を追加することはありません。

研究で用いる情報は氏名を削除したうえで取り扱うため個人が特定させる心配はありません。

研究の期間

2023年6月21日～2025年3月31日

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。
その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部整形外科学講座 門脇俊

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2024年9月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

この研究で集める情報は、研究を始める前から既に誰のものか識別できないようになっています。そのため、ご自身の情報をこの研究に利用してほしくないといった申し出に対してはご要望に沿うことはできませんのでご了承ください。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部整形外科学講座／附属病院整形外科 門脇俊

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2242 FAX 0853-20-2236